

研究課題名

食道に隣接する病変の生検法における超音波気管支鏡下経食道的針生検(EUS-B-FNA)の有用性について

研究責任者の氏名

松尾康博

共同研究者の氏名

安藤英治、坂英雄

研究の概要

目的: 肺がんの縦隔リンパ節転移やサルコイドーシスなどの縦隔病変の生検には超音波気管支鏡下経気道的針生検(EBUS-TBNA)が行われています。気管支鏡を食道に挿入して行う EUS-B-FNA は食道に隣接していれば縦隔、肺実質内の病変の生検が可能な手技です。EBUS-TBNA と併用することで診断率が向上する報告が複数ありますが、最近では EBUS-TBNA と同等の検査精度、安全性があり患者負担も少ないとする報告も出てきています。しかし、実臨床ではあまり行われていないのが実情です。当院では EUS-B-FNA を第一選択として縦隔病変の生検を行っています。当院での EUS-B-FNA の症例をもとに縦隔病変の生検法として EUS-B-FNA 単独で十分な検査結果が得られるか、安全性に問題はないかを検討します。

対象と方法: 2020年4月から2022年11月の間に、当院にて EUS-B-FNA を実施した患者さんを対象にします。電子カルテから年齢、性別、病変の部位、大きさ、診断、合併症、検査時間、使用薬剤量、酸素使用の有無などのデータを収集します。

研究に関する記録は、研究終了後5年間保存した後に消去します。なお、研究の成果に関しては、学会発表や論文投稿する予定です。住所、氏名などの個人情報公開されることは一切ありません。

利用する情報の項目

年齢、性別、病変の部位、大きさ、診断、合併症、検査時間、使用薬剤量、酸素使用の有無など

利用するものの範囲

医師: 松尾康博、安藤英治、坂英雄

連絡先

松波総合病院 呼吸器内科 松尾康博

TEL: 058-388-0111

FAX: 058-388-4711

